

株式会社オズメッセ

～真の地域密着 全ては地域のお客様のために～



被災時の状況



被災直後の店内



リニューアル後のオズメッセ21



復旧後のPOSレジシステム



安心感、鮮度感の「見える化」

🏠 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：愛媛県大洲市東大洲1596
- 連絡先：0893-25-3800
- 事業内容：小売業
- 代表者名：代表取締役 菊地 秀明
- 企業のPRポイント：平成10年3月開店。安全安心をモットーに、毎日の暮らしの拠点としての機能を発揮。食品・衣料品・営農資材等、地域の皆様の生活を応援する店舗としての役割を果たしてきました。

🕒 被災前後の状況

- 床上120cmまで浸水したため、食品・衣料品・営農資材等は全て廃棄しました。また、冷蔵ショーケース、 Gondola、厨房機器は汚泥の付着・損傷が大きく使用不可となり、さらに床等には泥が堆積した状態でした。
- 店内商品や設備の清掃・片付けに1ヶ月を要しました。
- ホームセンターでは、商品等は廃棄となりましたが、被災2ヶ月後には営業再開できました。生活便利館（食品・医衣料・専門店）は、設備等の被害が大きく、営業再開まで8ヶ月余りを要しましたが、平成31年3月にリニューアルオープンしました。
- 売上については、被災前の実績まで回復するのに休業期間と同じくらいの時間がかかりましたが、現在は被災前まで回復しました。

🛠️ 活用した支援策他

- グループ補助金では、設備等の修繕入替の他、新分野事業を活用して店舗内のレイアウトを変更しました。産直市場を設け、作業場を開放型に改善する等、安心感、鮮度感を「見える化」することで、顧客のニーズに応じる環境を整備しました。
- 設備等の保険には加入していなかったため、グループ補助金が活用出来たのは資金面で助かりました。
- 休業期間も従業員の雇用を維持するため、雇用調整助成金を活用しました。

🗣️ 事業者からのメッセージ

- 生活便利館の休業時は、テナントとして入居されている専門店の休業も余儀なくされ、資金面で苦勞されたと推察されましたが、ほとんどの専門店が被災前と同様に出店頂けたことには感謝が尽きません。
- 被災から2年が経過し、やっと被災前に近いお客様が来て頂けるようになりました。来店されたお客様が、必ずリピーターになって頂けるように「真の地域密着 全ては地域のお客様のために」をコンセプトとして、高齢者や高齢者と暮らす家族、子育て世代が訪れる、安心安全な店づくりを目指します。



久保代表取締役専務 15